

令和2年度第1回岐阜県地方独立行政法人評価委員会（県立病院関係）

－ 議 事 要 旨 －

- 1 日 時 令和2年7月10日（金） 14：45 ～ 16：50
- 2 場 所 OKBふれあい会館 第1棟3階 301 中会議室
- 3 出席者
[委 員] 中島委員長、地守委員、富田委員、渡部委員、
[専門委員] 伊在井専門委員、田中専門委員
[法 人]（地方独立行政法人岐阜県総合医療センター） 滝谷理事長兼院長、
水野副理事長兼副院長兼事務局長ほか
（地方独立行政法人岐阜県立多治見病院） 近藤理事長兼院長、
後藤副理事長兼副院長兼事務局長ほか
（地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院） 災害対応のため欠席
[設立団体]（岐阜県） 堀健康福祉部次長、伊藤医療整備課長、桂川医療対策監ほか
- 4 議事等
[議題1] 令和元年度業務実績に関する評価について
[議題2] 第2期中期目標期間業務実績に関する評価について
[報 告] 令和2年度年度計画について
- 5 配布資料 次第、名簿、配席図、資料①-1～①-4、②-1～②-3、報告（総）（多）（下）、
説明（病院）
- 6 議事要旨

議事概要 県立病院関係

[審議事項：議題1]

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院の令和元年度業務実績に関する評価について

※各病院の理事長から、資料①-1についてポイントを説明。主な質疑は以下のとおり。

県総合医療センター

【富田委員】

コロナの影響で3月の患者数は減ったのか。また、学会は中止となったのか。

【滝谷理事長】

コロナの影響で、4月以降患者が減った。学会については、一部はWeb会議になったが、多くは中止となった。

【富田委員】

下呂温泉病院への人的支援が増えた理由は。

【滝谷理事長】

下呂温泉病院の内科医が休みを取ったことから、循環器内科を含め集中的に支援を行ったため。

【中島委員長】

医療相談件数が大幅に増えた理由は。

【滝谷理事長】

労働局から相談員に出張してもらい、就労支援を行ったことなどが理由と考えられる。

【中島委員長】

看護学生の実習受入が減少している原因は。

【滝谷理事長】

メインの受入元である岐阜県衛生専門学校の学生の数が減少しているため。現在は、新規の学校にも募集をかけ、実習生の数が増加するよう努力している。

【富田委員】

医療経営士が2人増えているが、外部から採用したのか。年代は。

【水野事務局長】

外部の人材を確保したのではなく、職員に資格を取得してもらった。1人は自発的に、もう1人は病院から朝日大の講座を受けてもらい取得した。年代は20代後半から30代前半。

【富田委員】

消費税増税の影響は。

【水野事務局長】

診療報酬は増額されたが、増税分の4割程度が補填されただけ。

【中島委員長】

総合サポートセンターとは。

【滝谷理事長】

スムーズに入院ができるための準備、病診連携による退院後の支援、治療費などの相談など、3つの機能を集約したものであり、今年の7月1日にオープンした。

【中島委員長】

南棟整備のスケジュールは。

【滝谷理事長】

3年後の完成を目指し、スタートしたところ。

【中島委員長】

登録医からFAXで検査予約を受けているが、ホームページからの予約は行っていないのか。

【滝谷理事長】

小児科は行っているが、その他はまだFAXと電話で行っている。

【渡部委員】

未収金について、各年度の委託金額は発生分の金額なのか、前年度から繰り越した分も含むのか。また、回収業務を委託すると、手元にどの程度残るのか。

【水野事務局長】

各年度の委託金額は年度末時点の累積の額。回収額の3割程度を委託業者に支払っている。

【渡部委員】

未収金にならないための対策は。事前の預かり金制度はあるのか。

【水野事務局長】

預かり金制度はない。先に会計をし、その後病棟に戻ってもらうこととしている。また、相談員が丁寧に説明をしたり、保険を確認したりしている。支払方法は今後の検討課題である。

【伊在井専門】

新たに内視鏡洗浄業務を導入とあるが、この業務だけ委託したのか。

【水野事務局長】

業務を行っていた職員が辞めたため、この部分だけ委託をした。

【伊在井専門】

病棟外来看護事務とは。

【滝谷理事長】

看護師の働き方改革の一環で採用しており、入院関係の管理を行っている。

県立多治見病院

【富田委員】

多治見シャトルは電子カルテで行っているのか。

【近藤理事長】

開業医の中には、環境が整っていないところもあるため、FAXで行っている。

【富田委員】

コロナの関係で派遣したDMA Tは自発的に行ったものなのか。また、風評被害はなかったのか。

【近藤理事長】

自発的に行ったもの。DMA Tの文字が入っていない多治見市の救急車がTVに映ったため、混乱を招いてしまった。

【中島委員長】

新棟整備のスケジュールは。

【近藤理事長】

設計は済んでいる。入札はコロナの影響で遅れており、秋以降に予定を立てる。2023年度か2024年度の完成を目指している。

【中島委員長】

医療相談件数が増加している理由は。

【近藤理事長】

ピアサポーターが相談員となることもあり、患者さんの意識が変化してきていることや、相談員を増やしたことなどが要因と考えられる。

【富田委員】

決算の数字が悪かったのは、コロナの影響か。

【近藤理事長】

理由は不明だが、8月～9月の数字が悪かった。電子カルテを更新した直後の5月～6月も、医師がカルテに慣れていないために患者数をセーブしたこともあったのか、数字が悪かった。

【富田委員】

新棟建設も影響しているのか。

【近藤理事長】

アスベストの処理を先に計上した影響で3億円のマイナスとなっている。

【中島委員長】

治験や共同研究の件数が減った理由は。

【近藤理事長】

理由は定かではないが、大学からの要請がなかったことなどが考えられる。要請があれば受けることとしている。

[審議事項：議題2]

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の第2期中期目標期間業務実績に関する評価について

※病院ごとに、資料②-1についてポイントを説明。主な質疑は以下のとおり。

県総合医療センター

【渡部委員】

インシデントやアクシデントの件数が増加している理由は。報告のルールが変わったのか。

【滝谷理事長】

意識の高まりが影響している。過去は報告もれがあったかもしれない。実際の件数が多くなったというより、ちゃんと報告があがってくるようになったものと考えている。

【地守委員】

すこやか病床は今後も増やしていくのか。

【滝谷理事長】

毎年2～3人の対象者が発生すると見込んでいる。入院待ちはないが、レスパイトは要望が多く、待ちが発生しているため、今後も増やしていく。

【渡部委員】

人事給与システムの開発は県立3病院共同で行っているのか。

【水野事務局長】

そのとおり。

【渡部委員】

代休と週休日振替の違いは。また、有給休暇の取得率は。

【水野事務局長】

代休は休日の代わり。週休日の振替は、ローテーションの中での休みの代わり。

義務化される年5日間の有給休暇取得率は、昨年1月から12月で95%ほど。今年度は100%を目指す。

【富田委員】

薬剤費が高いが、材料費比率の目標は30%でいくのか。

【水野事務局長】

今年度の年度計画からは、目標を削除した。

県立多治見病院

【中島委員長】

麻酔科医の不足と救命救急センターの病床利用率が下がっていることは関係しているのか。

【近藤理事長】

救命救急センターの病床利用率は下がっているが、救急車の受入件数は増加している。手術後の患者をできるだけ病棟に戻すなどし、救命救急センターの病床が満床とならないよう、余裕を

持たせている。麻酔科医については、非常勤医師の確保などにより、不足はしているがある程度は改善してきている。

【富田委員】

医療経営士は外部から確保したのか。

【近藤理事長】

3名確保したが、1名は辞めてしまった。

【富田委員】

通常、コンビニを導入すると、食堂の利用が減ると思うが。

【近藤理事長】

コンビニは、周辺の住民も利用しており、特に問題ない。

【中島委員長】

食堂の直営について、コスパはどうか。

【近藤理事長】

1食400円で提供しており、現在は黒字。評判も良い。

【中島委員長】

今年度の年度計画の最後に、病院独自で数値目標を入れたのか。

【伊藤医療整備課長】

第3期からは、できるだけ数値目標を盛り込むよう全ての病院にお願いした。多治見病院は、さらに独自で目標を入れられたもの。

以 上（終了時刻 16：50）